

*この科目は実務経験のある教員による授業科目です。

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	小児看護学概論		
開講時期	1年次	単位・時間	1単位15時間	講師名	専任講師
学習目標	1. 小児期にある対象の特徴を理解する。 2. 小児看護の役割・機能を理解する。 3. 子どもの権利を保障することの必要性を理解する。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	小児看護の対象と役割			講義
	2	小児医療、小児看護の変遷			講義
	3	小児看護で用いられる倫理			講義
	4・5	小児の成長発達とその評価 家族のアセスメント			講義 演習
	6・7	小児の権利と倫理			講義 演習
	8	筆記試験（45分間）			試験
評価方法	1. 課題レポート 20% 2. 筆記試験 80%				
テキスト	新体系看護学全書 小児看護学①小児看護学概論／小児保健 メヂカルフレンド 国民衛生の動向				
参考文献	専門分野Ⅱ小児看護学概論：医学書院 子ども若者白書：内閣府 子ども子育て新支援：内閣府 小児看護の日常的な臨床場面での倫理的課題に関する指針：小児看護学学会				
自己学習時間	30時間	事前・事後学習	課題が提示された場合は、事前に調べ期限内に提出する テキスト関連部分を予習する 前回の講義資料を復習する		

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	子どもの成長・発達に応じた看護		
開講時期	2年次	単位・時間	1単位 30時間	講師名	看護師
学習目標	1. 母子保健、小児保健のあり方について理解する。 2. 小児の発達段階に応じた世話と健康増進のための看護を理解する。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	保健統計からみた小児と健康問題			講義
	2	小児を取り巻く環境			講義
	3	小児の発達に伴う生活行動の変化と日常生活の支援①			講義
	4	小児の発達に伴う生活行動の変化と日常生活の支援②			講義
	5	小児の発達に伴う生活行動の変化と日常生活の支援③			講義
	6	小児の発達に伴う生活行動の変化と日常生活の支援④			講義
	7	小児の発達に伴う生活行動の変化と日常生活の支援⑤			講義
	8	小児の発達に伴う生活行動の変化と日常生活の支援⑥			講義
	9	健康問題/障害および入院が小児と家族に及ぼす影響と看護			講義
	10	健康問題/障害および入院が小児と家族に及ぼす影響と看護			講義
	11	健康問題/障害のある小児の発達段階に応じた看護（新生児）			講義
	12	健康問題/障害のある小児の発達段階に応じた看護 （乳児期・幼児期）			講義
	13	健康問題/障害のある小児の発達段階に応じた看護 （幼児期・学童期）			講義
	14	健康問題/障害のある小児の発達段階に応じた看護 （学童期・思春期）			講義
	15	終講試験			
評価方法	筆記試験 100%				
テキスト	新体系看護学全書小児看護学①小児看護学概論／小児保健 <メヂカルフレンド> 新体系看護学全書小児看護学②健康障害をもつ小児の看護				
参考文献					
自己学習時間	15時間	事前・事後学習			

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	健康障害のある子どもの看護		
開講時期	2年次	単位・時間	1単位 30時間	講師名	看護師
学習目標	1. 健康障害が小児と家族に及ぼす影響を理解する。 2. 健康障害によりさまざまな状況にある小児と家族に対する看護の方法を理解する。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	健康問題・障害および入院が 小児と家族に及ぼす影響と看護 1) 健康問題・障害および入院の影響			講義
	2	2) 健康問題・障害の受容と入院適応に向けての看護			講義
	3	3) 快適な病院環境に向けての看護			講義
	4	小児にみられる主な症状と看護 1) 小児にみられる症状の特徴 2) 小児にみられる主な症状と看護①			講義
	5	2) 小児にみられる主な症状と看護②			グループワーク
	6	2) 小児にみられる主な症状と看護③			講義
	7	健康問題・障害および入院が 小児と家族に及ぼす影響と看護 小児にみられる主な症状と看護 まとめ・振り返り			講義
	8	小児と家族に起こりやすい直面しやすい状況と看護 治療処置を受ける小児と家族			講義
	9	小児と家族に起こりやすい直面しやすい状況と看護 救急処置を受ける小児と家族			講義
	10	小児と家族に起こりやすい直面しやすい状況と看護 活動制限・感染予防・手術を必要とする小児と家族			講義
	11	小児と家族に起こりやすい直面しやすい状況と看護 先天性疾患・障害をもつ小児と家族			講義
	12	小児と家族に起こりやすい直面しやすい状況と看護 在宅で療養している小児と家族			講義
	13	小児と家族に起こりやすい直面しやすい状況と看護 虐待が疑われる小児と家族 災害発生時の対応			講義
	14	小児と家族に起こりやすい直面しやすい状況と看護 成人移行期過程にある小児と家族			講義
	15	終講試験			
評価方法	筆記試験 100%				
テキスト	新体系看護学全書 小児看護学②健康障害をもつ小児の看護 <メヂカルフレンド>				
参考文献					
自己学習時間	15時間	事前・事後学習			

*この科目は実務経験のある教員による授業科目です。

科目区分	専門分野Ⅱ		科目名	小児看護学演習		
開講時期	2年次	単位・時間	1単位30時間	講師名	専任講師	
学習目標	1. 小児期の事例を通して、特徴をふまえた看護過程が展開できる。 2. 小児に対する基本的な援助技術を習得できる。					
授業の内容と方法	回	授業内容				授業形態
	1	1. ガイダンス 2. 小児看護の対象と特徴				講義
	2	3. コミュニケーション 4. プレパレーション				講義
	3	5. 小児看護に特有な基本的技術と看護				演習
	4	6. 小児看護に特有な基本的技術と看護				演習
	5	7. プレパレーションの実際 1) 事例の模擬患児を対象としたプレパレーション				演習
	6	8. 小児に特有な紙上事例に基づいた看護過程の展開 1) 事例：川崎病、ネフローゼ症候群、気管支喘息など1～2事例				講義
	7	2) アセスメント				演習
	8	3) 全体像 4) 看護診断				演習
	9	5) 看護計画				演習
	10	9. 小児のフィジカルアセスメント 1) 援助の実際				演習
	11	10. 健康な小児への健康教育 1) 体のしくみ				講義
	12	2) 子どもの生活に結び付けたプログラムを企画				演習
	13	3) 発表				演習
	14	4) まとめ				演習
15	45分間終講試験、45分間まとめ					
評価方法	筆記試験 50%、レポート 50%					
テキスト	新体系 看護学全集 小児看護学①小児看護学概論 小児保健 メヂカルフレンド社 新体系 看護学全集 小児看護学②健康障害をもつ小児の看護 メヂカルフレンド社					
参考文献	発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程 医歯薬出版株式会社 看護診断ハンドブック 医学書院 根拠と事故防止からみた 小児看護技術 医学書院 発達段階からみた 小児看護過程 医学書院 病気の子どもへのプレパレーション 中央法規 写真でわかる 小児看護技術 インターメディカ 聖路加看護大学からだ教育研究会 わたしのからだ					
自己学習時間	15時間	事前・事後学習	各期の成長・発達段階を復習する。 各期の解剖生理的特徴を復習する。			